



令和7（2025）年度



塩尻市コミュニティ・スクール ナビゲーター

令和7年6月

塩尻市コミスク 10 年目！

1 第1回コミュニティ・スクール連絡協議会

5月13日（火）に、市内全校の委員（学校長、学運協・地教協会長、またはCS正副会長）が集まり、上記の会議が行われました。

本年度の塩尻市コミュニティ・スクールの柱である **10年間の成果を感じ、10年先を見据える**～これまで積み上げたものを次の時代につなげよう～をテーマにグループワークを行いました。

学運協・地教協の会長、CS正副会長さんの中には10年間塩尻市のCSに関わってくださっている方もいますし、交代して今年度初めて正副会長になられた方もいます。校長先生方も塩尻市に関わっている年数はそれぞれで、その様々な視点でこの10年を振り返って変わってきたこと、これから先を見据えてできそうなことを考え、中学校区毎のグループで熟議（トーク）を行いました。

それぞれの思いを聴き合い、思いを伝え合う中で、これまでの成果を実感することができました。また、これからを見据えると様々な可能性とともに、課題も出され、このメンバーだからこそ出てくる思いが広がりました。主なものを順不同で書き出してみました。

変わってきたこと

自分再発見 自ら動く 地域の話ができる機会が増える 地域と学校の両方を考える 意味や目的を考えるようになる 校長・教頭とCS会長のつながりが深まり、当事者意識が強くなる 学校を超えた関わりとつながり 地域への力 公民館との協働 職員がみんな知っている 学校が地域を頼りにしている 慣れて気兼ねがなくなる 子どもとのつながり（あいさつ・仲が良くなる・声をかけられる） 生徒が地域と関わる良さを感じ取っている やってやる意識から学校の考えを尊重（協働） 子ども達の成長と一緒に考える 楽しそうな活動のアイデアが増える…

できそうなこと

ボランティア同士のつながりを生かす 地域の人と共に語り合いたい いつでもだれでもいらっ
しゃい 地域の方や児童・生徒のルーム 気軽に来校できる場 子どもを中心に地域とPTAを
つなぐ 他校との交流 もっと地域に出ていく 地域でもあいさつ 子どもも大人も学ぶ・遊ぶ
場 とりあえず動く 子どもたちの声、思いを聞いて形にしていく この地区のいい所みつけ
楽しい情報発信・共有 学校施設の開放（放課後のカルチャーセンター） 公民館との協働 地
域住民の寄り合い所 若い人につなげたい “楽しい”で多世代の人がつながる…

